



協定書にサインする木津市長と山田町長

埼玉県 三郷市

埼玉県の東南端に位置し、都心から最近地点15キロメートル、最遠地点で24キロメートルにあり、東西は5.6キロメートル、南北は9.5キロメートルある。地域の地形は低平にて殆ど高低なく、北より南に向かってわずかに低くなっている。

昭和47年5月3日市制を施行以来、都市的現象が著しく、昭和48年4月1日武蔵野線の開通、昭和60年1月23日常磐自動車道、首都高速立立・三郷線、平成4年11月27日東京外環自動車道（三郷-和光間）の開通、平成17年8月24日つくばエクスプレスの開通、同年11月27日東京外環自動車道（三郷-三郷南間）延伸により変ぼうしつつある。

面積 30.41km²

(みさと統計書
平成19年度版より抜粋)

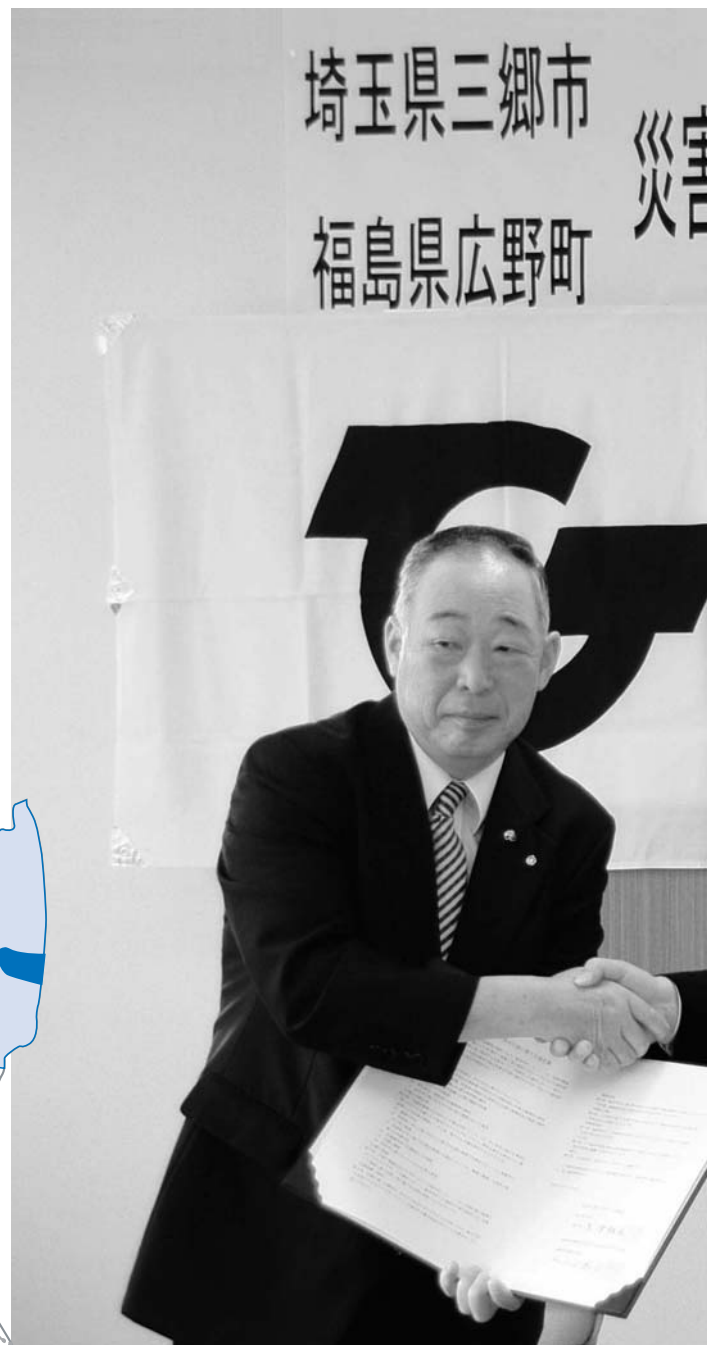
平成20年7月1日現在

男	66,551 人
女	64,005 人
総人口	130,556 人
世帯数	52,820 世帯

(三郷市ホームページより)



調印式参加者(前列中央 左から町長、二瓶理事、三郷市長)



た災害時における相互応援協定の締結に向け調整・協議が進められ、今回の協定書調印となりました。

協定書の主な応援の種類及び内容は、

- ・食料、飲料水及び生活必需物資の供給並びに当該供給に必要な資機材の提供
- ・被災者の救出、医療、防疫及び施設の応急復旧に必要な資機材及び物資の提供
- ・救援及び救助活動に必要な車両等の提供
- ・応急活動及び復旧活動に必要な職員の派遣
- ・ボランティアの斡旋
- ・被災者の一時収容する施設等の提供

などです。

なお、平常時の取り組みとして地域防災計画その他の必要な資料等の交換や協定を実効性のあるものとするため、両市町が地域間交流に努める内容となっております。

7月29日(火)

埼玉県三郷市と災害時における相互応援に関する協定書を取り交わす



調印を終え握手をする木津市長と山田町長

埼玉県三郷市(木津雅晟市長)と災害時における相互応援に関する協定書調印式が広野町役場で行われました。調印式は三郷市から木津市長はじめ中村議長ら関係者、福島県から二瓶総合安全管理担当理事と担当者、広野町から山田町長はじめ関係者が出席し、木津市長と山田町長が協定書にサインをしました。

山田町長が「大規模災害発生時、住民の安全と生活の安定を図るためには自治体間の連携や相互応援が効果的である。この調印を機会に両市町の友好関係を築いていきたい。」とあいさつしました。

協定書調印に至った経緯は、福島県の取り組みとして平成18年3月に策定しました福島県総合安全管理基本方針に基づき、災害時において地域が相互に助け合う関係の強化を目指し、福島県内の市町村や民間団体と首都圏との地域間交流を促進するための情報交換・情報発信の場として「うつくしま地域間交流ネットワーク」が設立されました。「うつくしま地域間交流ネットワーク」会議が毎年行われ、三郷市・広野町の両市町共に参加するなど意見交換や地域間交流に関する情報の収集・提供が行われてきました。

両市町は、常磐自動車道で結ばれており時間的な距離は近くなったものの、地理的には同時被災の可能性が少ないことから福島県総合安全管理室より三郷市と広野町との災害時における相互応援協定並びに地域間交流の提案を受け、その後、両市町間において、大規模災害が発生した場合に、相互に連携し協力・応援体制を整え、被災住民の安全・安心の確認を図るとともに今後、情報提供を行い地域振興の観点から新たな地域間交流につなげていくことを前提とし